

阪神南県民センター地域創生アクション・プラン

ア) 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) 若者・女性の雇用・就業支援 | 1 |
| (2) 出会いの機会づくり | 1 |
| (3) 地域や企業と一体となった子育て支援 | 2 |

【主な全県事業】

- | | |
|---|---|
| (1) 多子世帯への経済的支援 | 3 |
| (2) 地域祖父母モデル事業 | 3 |
| (3) ひょうごがんばりタイム～放課後における補充学習等推進事業～ | 4 |
| (4) 阪神地区高等学校における福祉科の設置 | 4 |
| (5) 高校・大学生「兵庫就活」促進事業 | 4 |

イ) 安全・安心で住みやすい地域をつくる

- | | |
|-----------------------|---|
| (1) 防災・減災対策の充実 | 5 |
| (2) 防犯対策の強化 | 6 |
| (3) 自転車安全対策の充実 | 6 |
| (4) 快適な生活環境づくり | 7 |
| (5) 地域活動の担い手の確保 | 7 |
| (6) ふるさと意識の涵養 | 8 |
| (7) 文化・スポーツの振興 | 9 |

【主な全県事業】

- | | |
|---------------------------------------|----|
| (1) 「津波防災インフラ整備計画」に基づく津波対策の推進 | 10 |
| (2) 南海トラフ地震 住民一斉避難訓練・合同防災訓練の実施 | 10 |
| (3) 県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会の設置 | 10 |
| (4) 兵庫県総合がん対策推進事業 | 11 |
| (5) 拠点型特養等による定期巡回・随時対応サービス支援事業 | 11 |
| (6) 認知症地域医療連携体制強化事業 | 12 |

ウ) 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

- | | |
|-----------------------|----|
| (1) 起業しやすい環境づくり | 13 |
| (2) 新事業展開への支援 | 13 |
| (3) 商店街の活性化 | 14 |
| (4) にぎわいの創出 | 14 |

【主な全県事業】

- | | |
|------------------------------|----|
| (1) ひょうごオンリーワン企業創出支援事業 | 15 |
| (2) 商店街再編事業 | 15 |
| (3) 商店街支援事業 | 16 |

阪神南県民センター地域創生アクション・プラン

県民をはじめ、企業、各種団体、市、県民センターなど、様々な主体が互いに連携しながら、自ら主体的に行動することで「安心して暮らせる阪神南地域の実現」をめざす。

ア) 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる

多くの若者が阪神南地域に転入する一方で、乳幼児や学童期の児童とその親の世代の転出が顕著であることから、地域や企業と一体となった子育て支援などにより、若者が定着し、安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる。

【総括 KPI】

・ 0～14 歳及び 30～39 歳の転出超過人数：H32：420 人（半減） [H26：846 人]

【主な事業】

(1) 若者・女性の雇用・就業支援

○ 若者ものづくり人材確保支援事業(1,660 千円)

高校生・大学生を対象に、ものづくりの面白さに触れる機会を提供する。

・ 就業体験バスツアーの実施

◇対象者：高校生・大学生(20～40 人×10 回)

◇内 容：管内企業(高校生 1 社、大学生 2 社)の製造現場を見学

・ ものづくり出張セミナーの開催

◇対象者：高校生(50～100 人×5 回)

◇内 容：熟練技術者による出張講話

・ 産業用ロボットセミナーの開催

◇対象者：高校生(25 人)

◇内 容：ロボットの作業デモンストレーション見学及び講義、高校生による新用途のアイデア発表(計 2 日間)

◇場 所：尼崎リサーチインキュベーションセンター 他

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
バスツアー、セミナー 参加者数		800 人/年	1,300 人/年	1,300 人/年
	725 人 (平成 26 年度)	1,257 人/年		

(2) 出会いの機会づくり

○ 出会いサポートセンター運営

少子化の要因である晩婚化・未婚化への対策として、出会い・結婚を応援するための事業を展開

・ 設置場所：尼崎市中小企業センター 6 階

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
成婚組数 (累計)		16 組	32 組	80 組
	11 組 (H26 年度)	13 組		

(3) 地域や企業と一体となった子育て支援

○ 森の子育てひろば事業 (400 千円)

都市部に暮らす未就学児の親子が自然の中でのびのび子育てができる機会を提供

- ・ 森を活用した遊び、森の探検、環境学習、森の遊具の設置 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加(交流) 親子数	30 組 (平成 27 年度)	30 組	70 組	190 組

○ まちの子育て広場事業(1,960 千円)

子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合い、情報交換ができる場づくりを推進

- ・ ひろばアドバイザーの派遣 (150 回)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
アドバイザー派 遣回数	76 回 (平成 26 年度)	152 回/年 133 回/年	152 回/年 —	152 回/年 —

○ 青少年健全育成活動の実施

青少年が豊かな感性を育み、たくましく成長することをめざし、親子の交流や自然とのふれあいの中で、多様な体験ができる活動の機会を提供

- ・ 親子ふれあい いきいきわくわく野球観戦
- ・ 小学生のスナッグゴルフ大会
- ・ 親子ふれあい事業

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数 (累計)	417 人 (平成 26 年度)	650 人 490 人	1,300 人	3,250 人

○ 青少年スポーツ文化体験教室の実施(800 千円)

小・中学生とその家族にスポーツ体験や芸術鑑賞を行う機会を提供

- ・ 施設：県立海洋体育館、尼崎スポーツの森、県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)、県立芸術文化センター
- ・ 内容：スポーツ体験・芸術鑑賞(計4回)
- ・ 参加者：小・中学生の親子 550 人

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	—	—	550 人	—

【主な全県事業】

(1) 多子世帯への経済的支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
第2子以降の児童のいる 世帯数の割合	13.9%(H25)	-	-	13.0%

【目標設定の考え方】減少傾向にある第2子以降の児童のいる世帯数の割合について、13%台の維持を目指す。

① (拡) 多子世帯の保育料軽減事業 (健康福祉) 199,000 千円

子育てにかかる経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境をつくるため、国の制度を超えて、第3子にかかる保育料の一部を助成(平成28年度より所得制限を緩和したことにより、世帯カバー率が約1/2から3/4に拡大)

- 対象世帯 市町民税所得割額169,000円(年収640万円)未満の世帯
- 対象児童 全ての第3子(国制度による負担軽減対象者を除く)
- 補助基準額 月額5,000円を超える保育料に対して
 - ・3歳未満児 月額5,500円を限度に補助
 - ・3歳以上児 月額4,000円を限度に補助
- 負担割合 県10/10 (全市町で実施)

② (新) 第2子の保育料軽減 (健康福祉) 213,000 千円

子育てにかかる経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境をつくるため、国の制度を超えた第2子にかかる保育料の一部助成を新たに実施

- 対象世帯 市町民税所得割額169,000円(年収640万円)未満の世帯
- 対象児童 全ての第2子(国制度による負担軽減対象者を除く)
- 補助基準額 月額5,000円を超える保育料に対して
 - ・3歳未満児 月額4,500円を限度に補助
 - ・3歳以上児 月額3,000円を限度に補助
- 負担割合 県1/2、市町1/2 (全市町で実施)

※参考：国の制度

保育所	保育所に同時入所していることを要件に、第2子：1/2軽減、第3子以降無償 ※市町民税所得割額77,100円(年収360万円)以下の世帯は同時入所要件なし
幼稚園	年長の子が小学3年生以下であることを要件に、第2子：1/2軽減、第3子以降無償

(低所得のひとり親世帯については別途特例措置あり)

(2) (新) 地域祖父母モデル事業 (政策創生) 6,360 千円

地域における多世代での子育て支援を推進するため、子育て支援団体等が、会員登録した特定の子育て世帯とシニア世帯同士をマッチングし、シニア世帯が日常的な見守りや相談、緊急時の一時預かり等を行う家族のような仕組みを確立

- モデル地区数 10市町40地区
- 補助額 150千円(定額) / 地区

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
実施地区数	-	-	40地区/年	40地区/年

(3) (拡)ひょうごがんばりタイム～放課後における補充学習等推進事業～（教育委員会）65,400千円

市町及び学校の学力向上に向けた取組を促進するため、放課後に地域人材と連携した「ひょうごがんばりタイム」（補充学習）を実施（実施する公立小・中学校数を拡大）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H30年度	H31年度
「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果(小・中)		全教科 全国平均以上	全教科 全国平均以上	全教科 全国平均以上	
	小・中学校計8科目中、 全国平均を上回る科目 2科目、同等の科目4科 目、下回る科目2科目 (H26)	小・中学校 計10科目中、 上回る：4 同等：5 下回る：1			

【目標設定の考え方】H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

(4) (新)阪神地区高等学校における福祉科の設置（教育委員会）63,130千円

人材不足が懸念される福祉分野に就業する人材育成を進めるため、福祉科の設置されていない阪神地区の県立高校に福祉科を設置する。

○設置校 武庫荘総合高校

○定員等 120名（1学年40名）、全県学区、H30年度開設

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H30年度
学科開設		—	基本設計	学科開設
	—	—		

【目標設定の考え方】平成30年度の学科開設を目標に設定

(5) (新)高校・大学生「兵庫就活」促進事業（産業労働）30,000千円

高校生の県内就職の促進と大学卒業時の県内企業への就職活動を促すため、県内企業の魅力等を掲載した企業ガイドブック（QRコード登録者に情報提供）の配付等を実施

○高校生向け

・企業ガイドブックの発行 県内高校2年生全員（50,000部）

○大学生向け

・企業ガイドブックの発行（12,000部）

・企業課題研究事業の実施（発表会1回）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
ガイドブックQRコード 登録者数		—	4,000人/年	4,000人/年
	—	—		

イ) 安全・安心で住みやすい地域をつくる

近い将来の発生が懸念される南海トラフ巨大地震などの自然災害から住民の安全を守るため、防災・減災対策に取り組むとともに、ひたたくり防止などの防犯対策や自転車の安全対策に取り組むほか、地域の担い手の確保、ふるさと意識の涵養、文化・スポーツの振興などにより、日本一安全・安心で住みやすい地域をつくる。

【総括 KPI】

- ・ 東京都への転出超過数：H32：668 人（半減） [H26：1,336 人]
- ・ 住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合：H32：90%以上 [H26：76%]
- ・ 災害の備えが確かなものと思う人の割合：H32：50%以上 [H27：31.8%]

【主な事業】

(1) 防災・減災対策の充実

○ 阪神南縣市合同広域防災訓練（200 千円）

南海トラフ地震発災時の連携体制を強化するため、管内 3 市等と合同訓練を実施し、今後内容の拡充を図る。

- ・ 実施時期：9 月中下旬
- ・ 訓練内容：図上訓練（災害対策本部の運営、テレビ会議等）（合同）
実動訓練（防潮堤閉鎖、河川など被害調査、広域防災拠点開設等）
シェイクアウト訓練（合同）

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加市町数	—	—	3 市	7 市 1 町 (阪神全域)
	—	1 市		

○ ニロック防災展示室の一般開放

学校の休日を利用し、親子で防災意識の高揚を図るため、事前予約なしで見学できる一般開放を実施する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加人数	272 人 (H26 年度)	300 人/年	300 人/年	300 人/年
		285 人/年		

○ 防災・減災学習会、出前講座の開催

防災・減災に対する知識を養うため、自治会、企業等からの要請を受けて開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加人数	1,088 人 (H26 年度)	1,000 人/年	1,000 人/年	1,000 人/年
		1,508 人/年		

(2) 防犯対策の強化

○ 「走る防犯の目」の推進 (2,300 千円)

街頭犯罪の抑止力を高めるため、業界・事業所団体や地域団体、市、警察等と連携した防犯活動を推進する。

- ・「走る防犯の目」ステッカーの自動車等への貼付
- ・走る防犯カメラの公用車への装着

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ひったくり犯 罪件数		195 件/年	170 件/年	100 件未満/年
	220 件 (H26 年度)	134 件/年		

○ ひったくり防止キャンペーン事業 (2,250 千円)

ひったくり防止を啓発するため、管内市、警察署、防犯協会等と連携したキャンペーンを実施する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
実施回数		12 回/年	20 回/年	20 回/年
	12 回 (H26 年度)	16 回/年		

(3) 自転車安全対策の充実

○ 高校生による自転車運転マナーアップフォーラム (750 千円)

高校生の事故率が高いことから、交通安全意識の向上をめざし、高校生が自主企画するフォーラムを開催する。

- ・開催時期：平成28年10月
- ・内 容：ワークショップ、交通安全宣言、宣言カードの全生徒への配布

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
自転車関係事 故件数		1,612 件/年	1,432 件/年	900 件未満/年
	1,792 件 (H26 年度)	1,616 件/年		

○ 自転車運転マナーアップキャンペーン (640 千円)

交通マナーの向上を図り、自転車関係事故を減らすため、管内の市、警察署、交通安全協会等と連携したキャンペーンを実施する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
実施回数		12 回/年	24 回/年	24 回/年
	12 回 (H26 年度)	23 回/年		

○ 路面ピクトサインの設置 (5,000 千円)

歩行者と自転車との事故減少を図るため、自転車通行可の歩道路面に安全な通行に資するサインを設置

- ・スケジュール：平成28年度上半期に試行・検証 (3 路線約 2km)
下半期から本格実施

- ・試行箇所：昭和東本町線（尼崎市）、西宮港線（西宮市）
芦屋鳴尾浜線（芦屋市）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
設置延長 (累計)		—	約6km	約24km
	—	—		

(4) 快適な生活環境づくり

- 尼崎運河水質浄化プロジェクト（1,500千円）

尼崎運河の水質浄化施設・キャナルベースにおいて、市民団体等が自主的に取り組む活動を支援するとともに、徳島大学と共同で水質浄化の研究を実施

- ・運河博覧会、オープンキャナルデイ、徳島大学との共同研究

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
キャナルベース(水 質浄化施設) 利用者数 (累計)		2,000人	4,500人	12,000人
	2,551人 (H26年度)	2,397人		

(5) 地域活動の担い手の確保

- 阪神南地域ビジョンの推進（2,309千円）

「阪神市民文化社会ビジョン」の実現を目指し、阪神南地域ビジョン委員会が地域活動団体等と連携して取り組む多彩な実践活動を支援

- ・委員の委嘱：平成28年4月～平成30年3月の2年間 73名に委嘱
- ・活動拠点：「ビジョン交流プラザ」を提供
- ・経費補助：グループ活動・広報活動への経費補助
- ・夢会議開催：ビジョン委員会と阪神南県民センターの共催により、地域住民と地域の夢や課題を語り合う会議を開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
一般参加型イ ベント回数		15回/年	20回/年	25回/年
	17回 (H26年度)	20回/年		

- こころ豊かな人づくり500人委員育成事業

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、時代を担う青少年の育成活動の担い手を養成

- ・受講期間：2年間（H27～H28）
- ・内容：講演、セミナー、フィールドワーク等
- ・委員数：15人（平成27年12月31日現在）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
修了者数 (累計)		—	10人/年	25人/年
	3人 (H26年度)	—		

※2カ年（H27～H28）で修了のためH27実績なし

○ 大学生による地域づくり活動への支援(3,023千円)

大学生の若い感性を活かした地域活性化を図るため、大学生が地域団体や事業者と連携して実施する地域づくり活動を支援する。

・活動助成

◇支援対象：学生と地域団体、事業者等との連携による地域活性化事業

◇実施主体：阪神地域の大学・短期大学のゼミ、研究室、大学生による地域づくり活動を実施するNPO等

・阪神つながり交流祭の開催

活動事例・成果の発表や活動団体間の情報交換などを行う阪神つながり交流祭を開催する。

◇開催時期：平成28年12月 ◇開催場所：管内大学施設

◇参加者：活動団体(助成対象以外も含む)、地域団体、事業者、行政関係者 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
活動助成 団体数		4団体/年	4団体/年	4団体/年
	4団体 (H26年度)	4団体/年		

(6) ふるさと意識の涵養

○ 尼崎の森ファミリークラブ(600千円)

森づくり活動をこどもの成長とともに家族で体験することにより、森への愛着や家族愛、ふるさと意識の醸成するとともに、森づくりの担い手を育成

・対象：小学生から中学生までの子どもとその家族

・内容：小学生入学時に森づくり作業を行う家族として登録

子どもの成長の節目に合わせた森づくり作業の体験、特別イベントへの招待
全工程参加者に活動記録集を贈呈

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
登録家庭数 (累計)		—	30組	150組
	—	—		

○ 「ココロンカード」スタンプラリー(1,000千円)

阪神南地域の個性あふれる施設の利用を通じて地域の財産を知り、ふるさと意識の醸成につなげるため、「ひょうごっ子ココロンカード」対象施設等のスタンプラリーを実施

・実施方法：一定数以上の施設を回った者に記念品(例：はばタン・缶バッジ等)を贈呈
対象者：小・中学生

・対象施設：28施設 コロンカード対象施設：21施設

その他(尼ロック、地すべり資料館、芸文センター等)：7施設

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
達成者数		—	10人/年	10人/年
	—	—		

○ 提案型ふるさとづくり協働事業(4,100千円)

地域課題にきめ細やかに対応し、「安心して暮らせる阪神南」を実現するため、各種団体が県民センターと協働で企画・実施する事業に対し助成

- ・対象団体：阪神南地域を活動基盤とする支援団体
- ・テーマ例：文化・スポーツの振興、環境の保全と創造、地域産業の活性化、安全で安心な社会の実現、青少年の健全育成 等
- ・助成内容：助成件数 20 件程度
助成金額 上限 20 万円（1 件あたり）
助成率 助成対象経費の 2/3 以内

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
補助件数	4 件 (平成 27 年度)	20 件/年 4 件/年	20 件/年	20 件/年

(7) 文化・スポーツの振興

○ 阪神南ふれあいスポーツフェスタの開催（9,000 千円）

スポーツの森開設10周年記念行事として、尼崎市市制100周年記念「あまがすきハーフマラソン大会」と連携したスポーツ体験等のイベントを開催

- ・日 時：平成28年10月16日（日） 9：00～19：00

（「あまがすきハーフマラソン大会」と同日開催）

- ・場 所：尼崎の森中央緑地（尼崎スポーツの森、大芝生広場）
- ・実施内容：スポーツの森スケート場無料開放、プロラグビー選手によるラグビー教室、ちびっこ水球大会、ジュニア選手によるアイスショー、フィナーレ（打ち上げ花火） 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
入場者数	—	—	10,000 人	—

○ 阪神南リレーミュージアムの開催（1,500 千円）

阪神南地域の豊かな文化を発信するため、管内の博物館・美術館が連携して阪神南ゆかりの共通テーマで展覧会を実施

- ・共通テーマ：『阪神南ゆかりの作家をたずねて』
- ・参加施設：尼崎市総合文化センター、近松記念館、西宮市大谷記念美術館、西宮市立郷土資料館、谷崎潤一郎記念館、富田碎花旧居、虚子記念文学館
- ・その他：共通チラシ・ポスターの作成・広報
地域 SNS 「あにあん倶楽部」等での情報発信
バスツアーによる集客支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
実施期間中の 来館者数	—	—	5,000 人	—

【主な全県事業】

(1) 「津波防災インフラ整備計画」に基づく津波対策の推進（県土整備）6,310,000千円

南海トラフ地震による最大クラスの津波に備えるため、「津波防災インフラ整備計画(H26～35年度)」に基づき、防潮堤等の沈下対策や防潮水門の整備など緊急かつ重要な事業を推進

○基本的な考え方

1)津波対策は10年間で概ね完了(平成35年度まで)

2)緊急かつ重要な事業を5年間で完了(平成30年度まで)

・レベル1津波対策(発生頻度が高い津波への対応)→津波の越流を防ぐ

津波防御対策…防潮堤等の整備、陸閘等の自動化・遠隔操作化・電動化等
避難支援対策…道路法面等への階段設置、避難誘導スピーカーの設置等

・レベル2津波対策(最大クラスの津波への対応)→津波の浸水被害を軽減する

既存施設強化対策…防潮堤等の越流・引波対策、沈下対策、防潮水門の耐震対策
津波被害軽減対策…防潮水門の下流側への移設等

○平成28年度の主な事業箇所

・福良港・阿万港・沼島漁港(南あわじ市)、洲本地区(洲本市)、
尼崎西宮芦屋港 尼崎地区(尼崎市)・鳴尾地区(西宮市)・西宮・今津地区(西宮市) 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H30年度	H31年度	H35年度 (目標達成年度)
防潮堤等の整備延長		0.8km	1.3km	2.3km	—	—
	0.3km(H26)	0.8km				
防潮水門の整備基数		2基	2基	4基	5基	—
	1基(H26)	2基				
防潮堤の沈下対策延長		0.4km	1.0km	2.0km	2.6km	5.0km
	0.1km(H26)	0.3km				
防潮水門の耐震対策基数		5基	8基	18基	—	—
	0基(H26)	1基				

(2) (拡)南海トラフ地震 住民一斉避難訓練・合同防災訓練の実施（防災）8,168千円

県民の防災意識の更なる高揚を図り、地域防災力の向上に資するとともに実動組織間のさらなる連携強化を図るため、南海トラフ地震対策の被害想定やアクションプログラム等に基づくより実践的な訓練を実施

○主 催 兵庫県、関係市町

○実施時期 H28年11月13日(日)(世界津波の日関連事業)

○参加機関 県、市町、消防、警察、自衛隊、医療関係機関、自主防災組織等

○訓練内容 (新)一斉避難訓練(津波避難訓練、避難所設置・運営訓練等)

合同防災訓練(救出・救助訓練、応急救護所設置・運営訓練等)

(3) (新)県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会の設置（病院局）1,000千円

県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方を検討するため、大学関係・外部有識者、地域医療関係者、地域住民代表者等による検討委員会を設置

○設置期間 平成28年度(1年間)

○事務局 兵庫県・西宮市

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討	-	-	外部検討委員会で検討	-

【目標設定の考え方】 H28年度の検討開始を目標に設定

(4) (新)兵庫県総合がん対策推進事業（健康福祉）3,653千円

国の「がん対策加速化プラン」等に即したがん予防、医療体制の充実を図るため、「兵庫県がん対策推進計画」の取組を着実に推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
胃がん検診受診率 ※1	34.9% (H25)	-	-	50% (当面 40%)	-
肝がん死亡率(10万人対)	5.8 (H26) 全国5.6(H26)	-	-	全国平均以下	-

【目標設定の考え方】 ※1：国の「がん対策推進基本計画」の目標値に準じて目標を設定(国民生活基礎調査)

① 胃がん検診の基盤整備と受診促進（1,983千円）

平成28年度から導入される内視鏡検査・治療法等について、胃がん検診従事者研修を実施

② 地域肝炎対策支援体制の構築（1,242千円）

3地域（阪神南、中播磨、西播磨）で地域研修会・相談会を実施するほか、市町・県保健師を対象とした地域肝炎コーディネーター研修会を実施

③ がん患者等の相談支援体制の充実強化（428千円）

療養情報ハンドブックの作成（3,000部）

(5) (拡)拠点型特養等による定期巡回・随時対応サービス支援事業（健康福祉）58,840千円

在宅介護の支援体制の充実を図るため、日中・夜間を通じ24時間、定期の巡回と利用者の求めによる随時の訪問サービスを提供する定期巡回・随時対応サービスへの参入を前倒しして支援

① 訪問看護充実支援補助（15,642千円）

訪問看護の訪問回数が4回以上になると、定期巡回・随時対応サービスの訪問看護の介護報酬が単独の訪問看護の介護報酬を下回るため、その単価差を補助

② 機能強化型訪問看護ステーション等との連携推進（9,000千円）

機能強化型訪問看護ステーション等の参入に当って必要となるICT機器等の整備に対し補助

③ (拡)地域サポート型施設等定期巡回・随時対応サービス参入促進モデル事業（30,156千円）

生活援助員(LSA)等を配置して地域住民を対象に24時間体制の見守り等を行う特養等の地域サポート型施設に対し、新たに必要となるオペレーター配置経費を補助

④ 普及啓発の実施（4,042千円）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度	H32年度 (目標達成年度)
定期巡回・随時対応サービス提供事業所数		35 か所	49 か所	90 か所	
	18 か所 (H26)	29 か所			
定期巡回・随時対応サービス利用者数(年間)		7,032 人	11,760 人	43,432 人	56,784 人
	2,268 人 (H26)	4,106 人			

(6) (拡) 認知症地域医療連携体制強化事業 (健康福祉) (33,544 千円)

認知症医療体制の強化及び認知症に係る医療介護の連携を図るため、医療機関の連携等を実施

① 認知症疾患医療センターを核とした医療体制構築事業 (31,176 千円)

圏域内医療連携会議や、研修会・事例検討会を開催し、認知症対応医療機関などとの連携を強化

② 認知症対応医療機関連携強化推進事業 (2,368 千円)

認知症対応医療機関登録制度の普及促進を図るとともに地域連携の推進を目指し、医療・福祉関係者、県民等を対象としたフォーラムを開催

■ 認知症対応医療機関数 (平成 27 年 12 月末現在)

(単位: 箇所)

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
I 群: 身近な医療機関	250	218	144	82	68	107	87	61	28	64	1,109
II 群: 専門医療機関	16	9	5	5	4	4	2	2	1	2	50
合計	266	227	149	87	72	111	89	63	29	66	1,159

ウ) 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

全国有数のものづくり産業の集積地としての強みを生かし、イノベーションの促進と雇用の創出を図るため、企業のネットワークを生かした付加価値の高いものづくり産業の発展を促すとともに、新たな起業による担い手の増加や中小企業の新事業展開、まちなか再生に向けた商店街の活性化を図る。

【総括 KPI】

- ・市町内総生産（実質）：3兆9,064億円（10%以上増加）（H30）〔H25：3兆5,513億円〕
- ・開業率：3.3%（H18～21期並に増加）（H29～32期）〔H21～24期：2.4%〕

【主な事業】

(1) 起業しやすい環境づくり

- 若者向け創業セミナーの開催(1,500千円)

中高年に比べて低調な若者世代の創業を促進するため、市の創業支援窓口と連携して、大学生など若者を対象に、創業に関するセミナーを開催する。

- ・一般向け創業セミナーの開催

◇対象者：創業に関心のある10～20代の若者（県内在住又は県内大学在籍）

◇内容：学生時代に創業した企業家の講演、創業支援制度の説明等（2時間×1回）

◇開催場所：尼崎市

- ・創業志望者向け創業講座の開催

◇対象者：創業を志す10～20代の若者（県内在住又は県内大学在籍）

◇内容：経営に関する知識、企業家との意見交換、ビジネスプランの作成（4時間×3～4回）

◇開催場所：尼崎市

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
セミナー等の 若者の参加者 数	—	—	60人/年	60人/年

(2) 新事業展開への支援

- 阪神南リーディングテクノロジー実用化支援事業(4,700千円)

優れたものづくり中小企業の中から、先端的なテクノロジーを発掘・選定し、実用化に向けて支援する。

- ・戦略産業雇用創造研究

（一財）近畿高エネルギー加工技術研究所（AMPI）と阪神南リーディングテクノロジー（LT）企業が共同して行うロボットを活用した加工技術（溶接、切断等）の高度化を支援

- ・実用化支援研究

AMP I と LT 企業間の連携による新たな技術開発・製品実用化を支援
（H19～27：計99社）

◇補助率：2/3以内

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
LT 支援企業 数	13 社 (H26 年度)	13 社/年 12 社/年	13 社/年	13 社/年

○ 産業フェア等への出展支援(4,500 千円)

管内ものづくり中小企業の販路開拓を支援するため、阪神南 LT 実用化支援事業の認定企業等を対象に、産業フェア等への出展を支援する。

- ・国際フロンティア産業メッセへの共同出展
- ・県外の大規模展示会へ出展支援
- ・商工会議所等が主催する産業フェア等への出展

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
出展支援企 業数	19 社 (H26 年度)	19 社/年 19 社/年	19 社/年	19 社/年

(3) 商店街の活性化

○ 大学生による商店街活性化への支援(500 千円)

大学生の若い感性を活かした商店街の活性化を図るため、大学生が商店街と連携して実施する活動を支援する。

- ・活動助成

◇支援対象：学生と商店街等との連携による商店街活性化事業

◇実施主体：阪神地域の大学・短期大学(サテライトがある大学も含む)のゼミ、研究室、大学生による地域づくり活動を実施する NPO 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
活動助成 団体数	—	—	2 団体/年	2 団体/年

(4) にぎわいの創出

○ IWC と連携した日本酒振興イベントの開催(7,000 千円)

世界最大の酒類品評会である IWC (インターナショナル・ワイン・チャレンジ) の日本酒部門の審査会開催にあわせて、地元団体が実施する日本酒振興イベントを支援する。

- ・日 時：5月14日(土)～15日(日)
- ・場 所：西宮神社及び周辺施設
- ・実施内容：大道芸など各種イベント、飲食・販売・展示ブースの出店

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
イベント参 加者数	—	—	20,000 人	

○ 「あにあん倶楽部」による魅力発信(11,296 千円)

地域情報総合ポータルサイト「あにあん倶楽部」を運営し、尼崎、西宮、芦屋という個性あふれる 3 都市を抱える阪神南地域の魅力や特色を発信する。

- ・あにあん倶楽部の運営

- ・ SNSを活用した情報発信
- ・ あにあんフォトコンテストの開催
- ・ 阪神南再発見モニターツアーの開催 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
「あにあん倶楽部」会員数 (累計)		2,200人	2,700人	4,000人
	—	2,185人		

【主な全県事業】

(1) (新)ひょうごオンリーワン企業創出支援事業（産業労働）12,000千円

優れた技術や製品を有し、競争力が高いオンリーワン企業の創出を図るため、オンリーワン企業の選定・公表制度を設けるとともに、販路開拓等の取組を支援

○オンリーワンを目指す企業への支援

- ・ 支援内容 販路開拓支援、製品開発・改良への支援等
- ・ 補助率 1/2（補助上限：1,000千円）

○オンリーワン企業、オンリーワンを目指す企業への共通支援

企業紹介 HP の立ち上げ、人材確保に向けた首都圏でのPR支援、民間活力を活用した資金支援等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
オンリーワン企業を目指す 企業への補助件数		—	10件/年	10件/年
	—	—		

(2) (拡)商店街再編事業（産業労働）12,200千円

既存の商店街の活性化を図るため、下記の商店街再編の取組に対して支援

① 商店街店舗再編促進事業

- 事業内容 再編対象の店舗移転の引越費用を支援
- 負担割合 県 1/3、市町 1/3、事業者 1/3
- 補助限度額 200千円

② 商店街再編店舗開業支援事業

○(拡)誘致支援

- ・ 事業内容 複数店舗を誘致するためのコンサル委託経費を支援
- ・ 負担割合 県 2/3、事業者 1/3
- ・ 補助限度額 8,000千円

○開業支援

- ・ 事業内容 店舗の移転開店に伴う内装工事費等を支援
- ・ 負担割合 県 2/3、事業者 1/3
- ・ 補助限度額 4,000千円

③ 商店街再編店舗円滑化事業

- 事業内容 移転開店に伴う家賃（店舗賃借料）を支援
- 負担割合 県 1/2、事業者 1/2
- 補助額 実家賃の 1/2

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
支援件数(累計)	—	—	11件	45件

(3) (拡)商店街支援事業

① (拡)商店街元気づくり事業(産業労働) 43,200 千円

商店街の賑わい創出、魅力づくり、地域コミュニティ機能向上を一体的に促進するため、地域と一体となったイベント等を支援(連続イベントに対する支援を拡充)

○補助対象者 商店街、小売市場

○補助率 対象経費の額に応じた定額(市町随伴期待)

○県補助額 [基礎分]+[連続イベント加算分]

上限：基礎分を含めイベント10回(被災地は12回)まで

② (拡)商店街ご用聞き・共同宅配の実施(産業労働) 8,000 千円

地域特性や住民ニーズに応じた買い物利便性を高めるため、買い物利便性の低い市街地又は中山間地域等における商店街等が行う取組を支援

○対象者 商店街・小売市場、商工会・商工会議所、商業者グループ

○補助率 1～3年目 1/2、4・5年目 1/3

○補助限度額 3,000 千円

○補助期間 最長5年間(H27年度3年間)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
支援件数(累計)	—	75件	150件	375件
	70件(H26)	109件		